

キミのピアノは、ずっとキミの帰りを待ってる

部屋の隅でホコリかぶってた  
置き去りのままのピアノ  
淋しそうに座ったまま  
黙りこんで...

キミが帰るその日を  
待ち続けてるみたいに

画面の中の世界  
何処にだって  
繋がってるのに  
キミは遠くて  
どんなに探しても  
呼んでも  
もう届かない

日毎夜毎  
指で叩いた  
ボクの手で奏でたくて  
拙い音でも今  
旋律になって...

不器用なボクのこと  
何処かで見てて笑ってよ

あの歌にあるように  
「もしピアノが弾けたのなら」  
キミも言ってた  
伝えきれってなかった  
想いの全て  
いま届けたい

画面の中の世界  
何処にだって  
繋がってるのに  
キミは遠くて  
どんなに探しても  
呼んでも  
もう届かない